

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

670 図 学

記入昭和 56年 4月 / 日

調査者氏名 中野 勝安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	機械製図	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
1. 配属先名称 (現地公用語) Ministry of Education			
(日本語): 教育省			
ロ. 隊員勤務先名称: Accra Polytechnics		アクラ理工学校	
所在地: アクラ 首都		日本語名称 (アクラポリテクニク)	
主要都市からの距離 (より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 日本の短大が高等にある教育機関下、当地の高校卒業した学生が入学し、2年制専門技術と学ぶ。学生数は40名程度と思われ、1クラス約40名下あり。ミドルレベルの技術者と養成する。			
ニ. 設備概要: 授業に必要な機械は一通り揃っている。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 業務上の地位	アクラポリテクニクの教員		
② 技術の範囲	機械製図の技術指導及び同様の理論。その他、物理を担当		
③ 業務の形態	教員		
④ 対象者	学生、当地の高校出身者である下、技術的な素養は充分あり、真の心が高い。年齢は18才~30才		
⑤ 現地下利用できる機械	授業に必要な道具は一通り揃っている。		
⑥ 他国ボランティアと同様の配置状況	カチのボランティアが2名配属されている。その他、インド人専門家庭、但し、業務上は隊員と直接関係なし。		
⑦ 使用する言語	英語 業務は英語で行うことになり、その点相当勉強が必要		
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガーナの慢性的教師不足により、技術専門学校の最上峰とみられるポリテクニクでも教師が不足している。1979年~1980年当校下活動17名の道津秀男隊員の交替と要請している。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
○大学卒業 - 工学部			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

691 日本語教師

記入昭和 56 年 8 月 7 日

調査者氏名 藤林 泰 Shinko

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Japanese Language Education	(男) 人	訓練開始 57年4月
	(日本語) 日本語教育	(女) 人 (どちらでも可) / 人	派遣予定 57年8月 受入期限57年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): University of the Philippines
(日本語): フィリピン大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)
所在地: ケソン市 (リサール州) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 所属する「言語学・アジア言語学科」は 教養学部 (College of Arts & Sciences) にあり、学科内のスタッフは 常勤 7 人、非常勤 5~6 人。言語学及びアジア言語 (4~5ヶ国語) の指導を行っている。

ニ. 設備概要: 授業は College of Arts & Sciences の校舎 (4階建) で行ない、隣接する Faculty Center に研究室として一室を与えている。L.L 設備はない。

(2) 隊員の業務内容:

選択必修科目として多くの外国語クラスが設置されており、日本語クラスもそのひとつ。4段階のコースがあり、1コース (3単位) は 48 時間。
学期によって多少の変動はあるが、初級クラスで 20 名前後、中級クラスで 5 名前後の生徒数。また、受持つ時間数は 週 6~10 時間位。

国際交流基金派遣専門家も同学科で働いており、ほぼ同じ規模と内容の授業を受持っている。

教室での使用言語は英語であるが、生徒の第一言語はヒリヒリであり、基本的な知識があることが望ましい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 藤林 泰の受入

日本語の基礎に習熟し、主として実用会話を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 男女・経歴の有無は問わない。

英語堪能 (明らかな性格) 日本の文化・歴史・社会などについても英語で説明できることが望ましい。年齢 25 歳以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月14日

680 日 本 語

調査者氏名 吉 満 博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エリトリア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	日本語教師		

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Japan Information Service (
- (日本語): 日本文化情報センター (大使館)
- ロ. 隊員勤務先名称: Japan Information Service 日本語名称 (日本文化情報センター)
- 所在地: アスマラハベ市内 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 日本人27-172名 ロカル27-176名
- ニ. 設備概要: 教室として1室使用可能

(2) 隊員の業務内容:

根據…日本語習得の需要があり、かつ船木有相乗りの際、文化交流、日本語研修計画が高らかに謳われたにもかかわらず、協力隊としては長年協力を続けてきた日本語隊員が本年7月をもって1人もいなくなる現状に鑑み、大使館、日本文化情報センター(以下、JISという)、Economic Planning Unit (エリトリア政府の協力隊窓口機関)とも相談の上、今日派遣を要請するものであります。

隊員は J.I.S (場合によっては JOCV office 等) で従前の Public Course を開設し、一般社会人の要望に応える。また、場合によっては日本エリトリア協会の日本語学校、あるいは国立行政研修所の日本語コースを手助けする等も有り得る。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本語をある程度勉強したが適当は上記学校がないため学習をやむなく中断している人、あるいは全くの初心者から JOCV に対して日本語コースの有無や学習環境が多岐とされているとの問い合わせ

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

明朗活潑でエリトリアの民衆に受け入れられる人物であること、
 すべて隊員の企画に基づき実施するものであること、企画力、実行力、指導力にすぐれていること、
 業務、エリトリアに堪能であること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月15日

680 日 本 語

調査者氏名 坂 牧 嘉 昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
タイ	(現地公用語) Teaching Japanese	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 日本語教育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Institute of Technology and Vocational Education, Bangkok (日本語名称: 技術職業教育大学)

所在地: バンコク

主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: オートビム校は日本語2-2を開設し、実業学校としてタイの唯一の学校である。秘書科、経理科、外国語科の3科に分かれている。

4. 設備概要: 日本政府に於て文化無償協力に2. 相当規模の日本語教育教材が整備されている内である。

(2) 隊員の業務内容:

① 職務上の地位: 日本語教師

② 技術の範囲: 実用日本語の知識、2人に対する日本語の指導法、生徒の発音と書力の改善、現行の学習200分といふ教材の見直しと必要に応じて改良された新編の発行

③ 業務の形態: 外国語科の教員として1時間制に於て

④ 給与: 大卒の資格を有するタイ人日本語講師

⑤ 利用の予備機材: 未確認ではあるが相当規模の教材がある。更に必要の場合は大学側が手当てする。

⑥ 邦国人の配置状況: 不明

⑦ 使用可能言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1. 日本からの文化無償協力に於て得た教材の有効的活用。

2. バンコクには日系企業が相当あり、日本語が話せたり、読めたり書けることは、この卒業後の就職に有利な作用が。従って、日本語学習に力を入れる生徒は多い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒 並校生レベルの人たちに日本語を教える経験があること。実用日本語の知識

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

692 理数科教師

記入昭和 56年 9月 11日

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Science teacher	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 理数科教師(物理)	(女) 人 (どちらでも可) 1人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Technological University of The Philippines

(日本語): フィリピン工科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上

日本語名称 ()

所在地: Ayala Blvd., Manila

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 2年制, 3年制, 4年制, 5年制の大学のコース, 大学院及び高校をもつ工科系の総合大学

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位 教員
- ② 技術の範囲 高校及び大学初年程度の物理学及び教育学
- ③ 業務の形態 主に授業
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年齢
対象者は高校生(2オマリ), 大学生及び高校大学の教員
- ⑤ 現地で使用できる機材 来年度(57年)には, 99量の実験器材及び視聴覚器材がほいる予定
- ⑥ 職場における日本人の配置状況
JOCVの化学, 数学, 機械の隊員, JICAの専門家数名
- ⑦ 使用する言語 英語 及び タガログ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

交替隊員として, 前隊員にもますます積極的的活動が期待されている。隊員の能力によっては, 高校, 大学だけでなく大学院を対象の講義を受け持つこともあり得よう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 学歴 大学卒業程度 (大学院卒業が望ましい)
- ② 取得資格 教育免許 (あれば望ましいが特に必要なし)
- ③ 実務経験は特に必要なし
- ④ 年齢は 26歳以上が望ましい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

692 理数科教師

記入昭和 56 年 9 月 21 日

調査者氏名 谷川幸雄・白山肇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (マレーシア)	(現地公用語) Environmental Chemistry (Analytical Chemistry)	(男) 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 化学(環境化学と分析化学)	(女) 人	派遣予定 57 年 7 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Universiti Kebangsaan Malaysia, Kampus Sabah
日本語名称 (国立マレーシア大学サバ州分校)
所在地: Beg Berkunci No:62, Pejabat Besar, Pos, KK
主要都市からの距離 (KKより約6キロ)

3. 事業規模及び内容: この分校は自然科学と自然資源の学部を1979年6月に創立。学生数は現在1〜3年あたり14人で70名程度。スタートから2年間は5学部(生物、化学、地質、物理、数学)から構成されていたが現在は3学部(生物、化学、地質学)に縮小された。各部門には教員9名。

4. 設備概要: 教授、准教授、講師、助手及び事務系職員を合計約55人程で構成されている。1985年に新校舎完成に伴い、スタート790名、600名の学生を予定している。

5. 設備概要: 大学内には専任講義室、実験室、各講師専任室、図書室、講義室、学生センターがある。実験室の設備は整っており、充分な設備がある(最近隣接するところには日本の高校程度のものである)。

(2) 隊員の業務内容

- ① 業務上の地位: 化学部の講師 (Pensyarah - lecturer)
- ② 技術の範囲: 大学の教員及び専任課程における分析化学並びに環境化学
- ③ 業務の形態: 分析化学及び環境化学の講義、並びに分析化学の実験指導
(2〜3年生) (2〜3年生) (2〜3年生)

併せてこれらにおける環境問題の研究調査 (別添参考資料)
④ 対象者: 対象学年は2年生及び3年生(20歳〜24歳)、かつ100時間以上の実験とTutor及びLaboratory Assistantである。一般的にTutorは大学卒業後、助手は大学に2年間の研修を行う。

⑤ 機材: 書籍(専任者多数あり、... ほとんどは英語)、実験機器は現在整備中。現在ある実験機器は別添写真のとおり。

⑥ 派遣員: マレーシア人2名、ドイツ人2名、マレーシア人1名、分析化学の担当は現在白山隊員とドイツ人2名(Dr Manfred)の両名である。

⑦ 使用する言語: 講義及び実験はマレー語
会議等はマレー語と英語の両方。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1979年6月に開校したこの大学は、当時の学長であった Dr Yusoff の大学教育の理想を遂げる中での実行であった。1980年11月には副学長であった Dr Arbain の学長となり、現在に至っている。現在320名程度の JOCV を含む 11 名である。現職者によるスタート構成員を希望している。派遣員に期待する期待度は大きい。今後、マレーシア人、西ドイツ人、南アフリカ人を補充する計画がある。これからより多くの JOCV に期待する期待度はますます大きくなることを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
○大学修士又は博士課程修了者及びこれと同等の学力を有する者、高校理科の教員経験者であることが望ましい。(又は教育の業務経験者 - 高校又は大学)
又、この要請は自然環境、文脈面、環境問題の実務経験者を望む。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 21 日

692 理数科教師

調査者氏名 谷川 年 志 雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Marine Biology	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 海洋生物学	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文 部 省

□ 隊員勤務先名称: Universiti Kebangsaan Malaysia, Kampus Sabah
所在地: Beg Bunkun, No. 62, Pejabat Besar Pos, Kuching
本語名称 (国立マレーシア大学サバ州分校)
主要都市からの距離 (KKより 86 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: この分校は自然科学と自然資源の学部として、1979年6月に創立。学生数は現在123年生及び1214人を含む。27-10の2年間は5学部(生物、化学、地質、物理、数学)から構成され、現在は3学部(生物学、化学、地質学)に減少した。各部門には教員の二、設備概要: 教授、準教授、講師、助手及び事務職員を合わせて55人程で構成されている。1985年、新校舎完成に伴い、2900名、600名の学生を予定する計画である。
大学内には専攻、講義室、実験室、冬講義室、図書室、国語室、講師及び学生寮がある。実験室の設備は整えられていない。英語の授業は、(最近除く)整備された。母子) 日本高校程度の現状。

- (2) 隊員・業務内容:
- ① 業務上の地位: 生物部の講師 (pensyarah / lecturer)
 - ② 教科・範囲: 大学の教養及び専門課程における海洋生物学
 - ③ 業務の形態: 海洋生物学及び藻類学の講義と実験指導
採集及び研究及び調査活動
 - ④ 対象者: 対象学生は2年生及び3年生(20~21名)、カウチングと実験
の TUTOR 及び Laboratory Assistant いる。
一般的に TUTOR は大学本課程、助手は大学1年の研修生が行う。
 - ⑤ 機材: 書籍(朝書多数有) ... (日本語)、実験機材は未だ整備中。
 - ⑥ 所属国: マレーシア 2人、ドミニカ共和国 4人、アメリカ
専任教員 1人 計 7人
 - ⑦ 使用する言語: 講義及び実験はマレー語
会議等はマレー語と英語の両方

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1969年6月に開校したこの大学は当時の学長であった Dr. Yusoff の大学教育の対策の中心として実行された。1980年11月に副学長であった Dr. Arbain の学長代行に充てられている。現在、現職の副学長は JOCV を含む計11名で現職の人による2900講義の充て込みの計画が、対策の期待は大きい。今後マレーシア、ドミニカ共和国の構想が期待されている。これから切り分け、JOCV の対策の期待度はますます大きくなると思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
○(大学修士)又は博士課程修了者及びそれと同等の学力を有する者
○高校の教育免許の取得者であればよい。(或いは教員の実務経験者)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 21 日

692 理数科教師

調査者氏名 谷川 幸雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
マレーシア (サバ)	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始	年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定	年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Universiti Kebangsaan Malaysia, Kampus Sabah 日本語名称 (国立マレーシア大学サバ分校)
所在地: Beg Berkunci No 6, Pejabat Besar, Per. K. K. 主要都市からの距離 (KKより) 86 キロ

3. 事業規模及び内容: 20 名が校に自然科学や自然資源の学部として1979年6月に創立。学生数は約1200名(3年生以下)で141名が本学卒業生。スタートから2年間は5学部(生物、化学、地質、物理、数学)から構成されていたが、現在は3学部(生物、化学、地質)に縮小された。各部門には教員が10名程度、設備概要: 教授、准教授、講師、助手および2つの系内を合計約55人程度で構成されている。1985年の新校舎完成に伴い2900名、600名の学生を予定する計画である。

4. 設備概要: 大学内には教室、講義室、講義室、実験室、各講師専室、同僚室、講師室、学生寮などがある。実験室の設備は整った状態であり、充分に言語の準備(英語を除く)は準備されている。日本高校程度を視察。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 化学部の講師 (pensyarah / lecturer)
- ② 技術の範囲: 大学の教養及び専門課程における海洋化学
- ③ 業務の形態: 海洋化学 (2年及4年生) の講義、と実験指導
研究、上級科目の研究及び調査活動
- ④ 対象者: 対象学生は2年生及び4年生 (21~22才)、カレッジ・レベルの実験、および Tutor 及び Laboratory Assistant である。
一般的に Tutor は大学程度、助手は大学1年生のレベルで行う。
- ⑤ 機材: 書籍 (専任者が数有) ... 1700冊 (英語)、実験機器は
現在準備中。
- ⑥ 外国人: マレーシア人 2人、ドイツ人 4人、パキスタン人 1人
計 7 人
- ⑦ 使用言語: 講義及び実験はマレー語
会議等はマレー語と英語の両方

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1969年6月開校したこの大学は当時の学長であった Dr. Yusoff の大学教育に対する熱意の中心で行われた。1980年11月に副学長であった Dr. Arbain が学長となり、現在外国人の JOCV を含む計 11 名の現職者によるスタート構成の体制で今日まで外国人に対する期待が大きい。今後マレーシア、西ドイツ、パキスタンの補充が期待される。このことから、この JOCV の対等期待度はますます大きくなると思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学修士 または 博士課程修了者 及び その同等の学力を有する者 (高校理科) の 教育免許 の取得者であること。 (または教育の実務経験者)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 21日

692 理数科教師

調査者氏名 谷川 幸志雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
 (日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Universiti Kebangsaan Malaysia, Kampus Sabah 日本語名称 (国立マラヤ大学サバ州分校)
 所在地: Beg Ben Kunci No: 62 Pejabat Besar, K.R. 主要都市からの距離 (KKより約6キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サバ州分校は自然科学や自然資源学部として1979年6月に創立。学生数は現在1~3年生合わせて141人。そのうち全学生。スタートから2年間は5学部(生物、化学、地質、物理、数学)から構成された。現在は3学部(生物、化学、地質)に縮小された。各部門には教員の2名。設備概要: 教授、准教授、講師、助手が22名。実験室を含む約55人部屋で構成されている。1985年に新校舎完成に伴い、スタート790人、600人の学生を予定する計画である。

(2) 隊員の業務内容: 大学内では専攻、講義、講義室、実験室、講師、助手、同僚、講師及び学生等と接する。実験室の設備は該校の212号棟。大分と言語室(最近除々に整備された)及び日本高校程度に現状。

(2) 隊員の業務内容: ① 業務上の地位: 生物部、講師 (pensyarah / lecturer)
 ② 技術の範囲: 大学の教員及び主要な課程における遺伝学
 ③ 業務の形態: (細胞遺伝、繁殖)
 : 遺伝学の講義と実験指導

④ 対象者: 対象学生は、第1(2~4年生を授けられる)、およびポートと実験の年のTutor及びLaboratory Assistantである。
 一般にTutorは大学卒業後、助手は大学2年の研修を行なう。

⑤ 機材: 書籍(要約書多数あり... 9ヶ国語) 実験機材の整備中
 ⑥ 外国人: マレーシア人2人、インドネシア人4人、マレーシア人1人計7人
 ⑦ 使用言語: 講義及び実験はマレー語
 会議やマレー語と英語、両方

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1969年6月に南サバ州の大学は当時の学長であった Dr Yusoff の大学教育に対する熱意の中で行われた。1970年11月に副学長であった Dr Anbain の熱意により現在に至っている。現在外国人はJOCVを合計11名に制限する。スタート構成は充分である。今後マレーシア人、インドネシア人の補充が期待されている。このことからマレーシアのJOCVに対する期待度はますます大きくなると予想される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
大学の修士又は博士課程修了者及びこれと同等の学力を有する者
 高校、教育実習の取得者とする(身には教員実務経験者)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 2日

692 理数科教師

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 6人	訓練開始 5年 4月
	MATHEMATICS & SCIENCE TEACHER	(女) 2人	派遣予定 5年 7,8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年8月迄に現地到着のこと
	理数科教師		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF HIGHER EDUCATION
 (日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: 地方の中・高等学校 日本語名称 ()
 所在地: 一般に僻地と云えられたい。 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 100~200名の中学校又は高等学校で共に日本の中学1年から高校1~2年程度の教育を行っている。

ニ. 設備概要: 日本では考えられぬ程貧弱であると思つて肉遣ひたい。

(2) 隊員の業務内容:

ケニアで協力隊の理数科教師隊員が求められたいのは ハランベ-スクールの一般に呼ばれる郡落の有志が設立した中学校(高校)である。ハランベ-スクールのほかにも同区、私立、ミツエ-系の中学校(高校)がある。

1. 業務上の地位は ハランベ-中学校又は高校の理数科教師である。
2. 技術の範囲は 中学から高校1~2年程度の数学・物理・化学・生物のうち何れか最低2教科の指導が出来ること、その他課外活動、クラブ活動の指導も求められる場合が多いので、何か又ホ-ツカニ出来ることが望ましい。
3. 対象の生徒は年令的に日本の中・高校の生徒のようになんて一定せず、教師より年令の若い生徒も珍しくない。
4. 現地に利用出来る教材は学校によって格差があるが、日本の常識で十分水準と云へたいと思つてほしい。
5. 他の先進国のボランティア教師と同じ学校に勤務する機会もありうる。
6. 授業は原則として英語で行われる。
7. 計7名の要員のうち2名は交替要員、他の5名は新規の学校に配属される予定。交替要員の前任者は54年1次隊の所部久美子隊員、同2次隊の中山緑隊員、共に女性である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ケニアでは政府はもとより、貧しい国民も子供の教育には極めて熱心であるが、国全体に理数科教師が不足しており、しかもケニア人教師が育つまで海外のボランティア教師に神託を頼っているというのが実情。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(英信で理数科の授業ができること) (最低大学卒) 年令・経験は向うない。
 身体康健で、精神的にもシッカリしていること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

692 理数科教師

記入昭和56年9月 日

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Science Teacher	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 理数科教師	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 教育省

ロ. 隊員勤務先名称: Secondary school 日本語名称 ()
所在地: マラウイ各地 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 200 ~ 400名 の 国立高校. もしくは ジョージタウン 系高校

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 高校生に 数学・物理・化学 を 教える。化学実験も行なう。(人により科目は異なる)
- ・ 隊員の 授業範囲 (授業の内容): 日本の 中学校 程度
- ・ 業務形態 (授業数): 30 ~ 40 時間/週 (1時間 40分)
- ・ 利用する 機材: 教科書・実験道具等 整備されていると3は必ずしも
- ・ 対象生徒: 日本の 中学三年 から 高校三年 まで。FORM 1 ~ 4 まで。
Eレベ 程度は 20才 以上の 生徒もいる。(小学校は 5年制)

・ 使用言語: 英語

・ 隊員 個々の 特技 による 課外 授業 を 行う こと も ある。
例: サッカー・バスケット・バレエ・絵画・音楽

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

理数科系。マラウイ 人 教師 は 極めて 不足 している ため。多数の 要請 が ある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学 理科 係 卒

② 教職 経験 が ある の が 望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

782 理数科教師

記入昭和 52 年 11 月 1 日

調査者氏名 平川 淳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Secondary School Teacher (日本語) 高校教師 (物理)	10人	訓練開始 年 月 派遣予定 53年 8 月 受入期限 5年 8月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 (生物) (数学)			
1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education and Culture, Ghana Education Service (日本語): 教育文化省 ガーナ教育局			
2. 隊員勤務先名称: Ghana National Secondary School		日本語名称 (ガーナ国立高校)	
所在地: (全12校の2009校あり)		主要都市からの距離 (より キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: Form 1~6 (Lower + Upper) のあり 年々 13~19歳の学生で 350名 校は全寮制 男子校・女子校に分かれている			
ニ. 設備概要: 教室、実験室等は 12校の高校の水準の設備はあるが 教材は不足			
(2) 隊員の業務内容:			
1 Form 1~6 の 45分授業 (10分休みの授業を行う) 例として 1校 (Form 1~2) は 物理、化学、生物等が 一括にあり General Science (12校の中学生理科) を教える場合もある。			
2. 生徒数は (1312名程度) 12校の 中学生 2年~ 高校3年に 割り 高学 年がかかり 高学である。			
3. 1校 200名 (40分授業) 前後の授業を行う。			
4. 1クラス 40名。			
5. 使用言語は 英語。			
6. 物理、化学、授業の他に 課外活動 案の管理、又 12校の 校長 などの 事務もある。			
7. 多くの学校は 卒業から 1年 等の 30~40名 外に 1人教師が 2~3名 ほど 配属されている。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガーナの Secondary School は 全アフリカ諸国の 中で 最も 内容が 最も 高水準にあり ガーナ国民も 教育には 大変な 意気込み 学生も 真面目で ある。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O印で囲むこと): (大卒 (4年制理工科系) 以上の学) (英語で 物理 又は 化学 が 教 えられる事) (教員免許 (中学・高校理科)) 教師経験 (望む可)			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月8日

681 理数科教師

調査者氏名 仲井儀英

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
リベリア	(現地公用語) HIGH SCHOOL TEACHER	(男) 5	訓練開始	年 月
	(日本語) 理数科教師	(女) 1人 (どちらでも可) 人	派遣予定	年 月
			受入期限 57年4月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION

(日本語): 教育省

2. 隊員勤務先名称: } 地方都市の高校

日本語名称 ()

所在地: }

主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 生徒数 300~1000名 日本の中学と高校が一纏とびつ HIGH SCHOOL 6年制とびつしている。教育シラバス及教科書に一貫性がなく、これから次第に整理しようとしている。

4. 設備概要: 教育制度が形だけであつたことから、クーデター後教育に対する重視政策がとられてあるが、設備は極めて不備、学校によって大分異なる。

(2) 隊員の業務内容: リベリアにおける教育は、日本での明治維新的のものと考えられる。かつての教育制度の不整備は、その際リベリア人のための教育から除外されていたと見える。教師の資も乏しく形だけの教育内容に留まっていた。従つて教育の情熱と燃やす人材が期待される。

1. 隊員の業務上の地位は、学校教師。

2. 技術の活用... 教養と創意工夫、自ら探求する姿勢と、電気、機械などに日多の経験があると応用の機会が多い。

3. 業務の形態... 授業時間 40分~45分 午前8時~4時、週25時間程度。

4. 対象者 G7(中学1年生)~G9. Junior class
G10~G12 Senior class 隊員の力量に依り調整すればよい。

5. 現地調査経験... 教育内容に応じて、現地調査するのが望ましい。

6. 邦3国人の配置... ガーナ、ナジビア等近隣諸国及ピースコーに受入れている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

教育に力を入れ始めたが、教師不足、特に理数科教師は現地人で得られない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

理数科大卒。(工学系もよい) 教師(家庭、塾熱心でよい)の経験があればよい。地方の生活条件厳しい所に配属とびつので、神さ直は受けたい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

693 児童理科教師

記入昭和 56 年 4 月 日

調査者氏名 久美 (南パラグアイ国)
海外駐在員 望月

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) EDUCACION GENERAL (MATEMATICA)	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 一般教育 (理数科教師)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Presidencia de la República

イ. 配属先名称 (現地公用語): Secretaria de Técnica de Planificación
(日本語): 大統領府企画局

ロ. 隊員勤務先名称: Liceo Privado "Espiritu Santo" 日本語名称 (私立聖霊学園)
所在地: Colonia Pirapó 主要都市からの距離 (オカシより 80 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ピラポ移住地にある西語小学校 4 校のうちの一つであり、唯一の私立ミッション系スクール。
いわゆる市街地には存在するが、中央小学校と呼ばれ、現在中学部も 2 年ほど運営中。生徒数は、小学校 - 時人約 50 人、パラグアイ人約 20 人、
中学校 - 日本人のみ約 25 名。いつも西語による授業が行われている。

ニ. 設備概要: 教材 器具等は殆んどない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 教員

② 技術の範囲 - 小学部、中学部 の児童・生徒にそれぞれ算数 数学を教えるほか、指導可能な分野があれば幅広く教えることが要請されている。

③ 業務の形態 - 受持時間数等については、後刻学校側と協議の上決定することとなるが、そのほか、余暇を活用し、日語校での指導(日本語対応)や移住地青年との交流等も必要とされ、場面もあると見られ、積極性が望まれる。

④ 利用できる機材 - 殆んどない。

⑤ ね個人等の配置 - 移住地内西語小学校に、体育、音楽の隊員がそれぞれ活動中。

⑥ 使用する言語 - スペイン語 (移住地であるが、日常は日本語のコミュニケーションが高い)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教育は小学校のみ義務制であり、かつ授業内容が貧弱な為、子供の成長後各方面にわたって問題が出現しているのが実情。かかる状況下、移住地西語校(姉妹傘下)としては、教員の配置が事実上有効に行われていないこともあり、これが打開を図ること、及専門の知識・経験を有した教師の指導と個人的人性豊かな児童、生徒の成長を期待するとの観点から、本件 JOCV 隊員を要請致したものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 教員としての実務経験があれば可。

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入昭和 56年 4月 6日

683 技術科教師

調査者氏名 木下 正 調整員 藤巻 浩 法

受人希望国名	受人希望業種	受人希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) ARTES INDUSTRIALES	(女) 人	派遣予定 年 月
	中学技術科教師	(どちらでも可) 人	受人期限56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION MEDIA

(日本語): 文部省 中等教育局

ロ. 隊員勤務先名称: INSTITUTO "FRATERNIDAD"

日本語名称 (インスティテュート フラテルニダ)

所在地: JUTICALPA, OLANCHO

主要都市からの距離 (首都より170キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 中学部3年、高校部3年が併設された学校で、午前、午後、夜間の3部制がとられ、共学、約1,100人の生徒が学んでいる。17クラス編成。一般教室、実習室、実験室、図書室などの施設の外、運動場、講堂を有する。

ニ. 設備概要: 家政、技術に関しては、それぞれ独立した実習室があり、基本的な教材、器具、工具類は整備されている。(数量としては、20~25人分の指導が可能であるが17クラス分としては不十分である)

(2) 隊員の業務内容:

上記学校において、12才~18才の地方農民子弟に初歩的な基礎技術教育を行う他、地域住民(特に農村婦人)に対し婦人学級、講習会の開催等が期待されている。ホンデュラスでは初等、中等教育に家政、技術教育の基礎がなく、教師、教科書とも少ない。隊員は生徒教育指導のほか、授業計画、教育目標、教科書、教材の作成も期待されている。

① 隊員の業務上の地位 中学、高校教師

② 技術の範囲 上記学校生徒、農村婦人に対する技術指導、講習会の実施、教科書、教材の作成。

③ 業務の形態 授業時間制、午前部 7:00~11:30、午後部 1:00~5:00、夜前部 5:00~9:00
1単位45分授業(月~金) 一週間約20時間の授業を受持つ。不定期に講習会

④ 対象者 中学生、高校生、現地側教員(再教育、カンターパート) 農村婦人

⑤ 現地に利用できる機材、工作室(木工、金工用の基礎加工機械及び工具) 裁縫室(ミシン7台他) 調理室(ガスレンジ、冷蔵庫、調理器具)

地方農民の家庭には家政、技術習得に必要な材料や道具を新たに購入する資力が少ない。隊員は現地住民の生活実態を調査、把握した上で、現地にて入手できる素材を教材として教育指導にあたるべく、創意工夫、忍耐力を必要とする。経済的な負担をかけない指導方法を用いることが絶対条件である。

⑥ 専門家、外国人の配置 アメリカ本国隊1名

⑦ 使用言語 スペイン語

(3) 受人希望の背景と受入国の期待:

国家開発計画において教育の充実と地方普及は最大の課題であり目標である。家政、技術教育に於ては生者に必要な基礎的な必需品を生徒、農村婦人自らの手で造りあげるといふ創造の業への、経済的な負担を軽減せしめるという課題とともに、技術の習得を通じて各個人が社会に参加して行くという重要な意義を持つものであり、隊員に対する期待は極めて大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

現役の中学、高校教師が望ましい。高度な専門技術よりも教育に対する情熱を必要とする。経験2年以上、教員免許取得を絶対条件とする。

携行不可欠の機材 = 小中学校 家政、技術工作に関する教科書、教材、指導書

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

ホンジュラス
駐在員



記入昭和 56 年 4 月 6 日

調査者氏名 松田美智代

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) EDUCACION PRE-ESCOLAR	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 幼稚園教諭	(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): JUNTA NACIONAL DE BIENESTAR SOCIAL

(日本語): 国家社会福祉委員会

ロ. 隊員勤務先名称: HOGAR TEMPORAL

日本語名称 (児童相談所)

所在地: TEHUCIGALPA

主要都市からの距離 (首都より 0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1963年親の病氣入院拘留が原因で永久的、或いは一時的に遺棄されたり、親の問題ある養育態度によって緊急保護を要する子供達のために設立された、一時保護宿泊施設である。現在 74 人の子供達が保護されている。

ニ. 設備概要: 広々とした緑の敷地内に、乳幼児室、男、女の学童室、事務室、医務室、台所、食堂などが入っている一階建ての 2 棟の建物が建っている。庭にはバスケットコートが設けられている。

(2) 隊員の業務内容:

当施設には、0 歳児から 14 歳児までの 74 人の子供達が生活しており、入所原因が大体、親の遺棄、虐待と特殊である。また、子供達は一定期間居住 (原則は 3 ヶ月となっているが、各子供の事情によって長くなることもある) という状況下であり、日本の保育園、幼稚園での勤務内容とは違った要素が付加される。

① 隊員の業務上の地位: 国立児童相談所 幼稚園教諭。

② 技術の範囲: 乳幼児教育、生活指導、学童見習、生活、レクリエーション指導、教材、遊具の作成、現地保育担当者の教育。

③ 業務の形態: 子供達の居住という事情から、日勤、夜勤制を取っている。幼児は午前中、保育園、学童見習は午前と午後の 2 部に分かれて通学。業務内容が複雑なので、隊員は現地到着後、自分で最適の時間割を作ることが望ましい。

④ 対象者: 0 歳から 14 歳までの乳幼学童見習。無資格保育担当者。

⑤ 現地で利用できる機材: 殆んど物質的環境には恵まれず、豊かに使用出来る教材、遊具類は期待出来ない。庭にはバスケットコート、これにかけたブランコ、シーソーがある。

⑥ 寄附家、第 3 国人の配置: なし。

⑦ 使用言語: スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンジュラスは先進国の教育内容、方法から比較すると、物質的にも人材的にも、精神的にもずっと遅れた貧しい国である。隊員の知識、人格、熱意によって、これらの水準を少しでも引き上げることが期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

保育、或いは幼稚園教諭資格取得者で、保育園、幼稚園以外の施設、例えば、児童相談所などでも業務経験を有している、愛情豊かな気のある人が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 66年 6月 日

701 体 育

調査者氏名 柳谷由美子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
HONDURAS	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始	年 月
	(日本語)	(女) / 人	派遣予定	年 月
	体 育	(どちらでも可) 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de educación pública.
 (日本語): 文 部 省

ロ. 隊員勤務先名称: Escuela Normal "España" 日本語名称 (小学校教育養成高校)
 所在地: Villa Ahumado, Danlí, El Paraíso 主要都市からの距離 (首都より100キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 15才~20才の小学校教員を目指す女子高校生対象に、各種教科(教育法・実技も含む)を一日7時間、週35時間の授業を行なうこと。

ニ. 設備概要: 18教室(内美術室1 家庭科室1 理科室1) 倉庫兼講堂1。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 体育教師・クラブ活動指導

② 技術の範囲: バスケットボール・バレーボール・ソフトボール・陸上競技・マツト運動・手具を用いた運動を遊びの要素を含めて指導すること。

③ 業務の形態: 1・2学年、各クラス 週2時間(計、週24時間)の体育授業。バスケットボール・バレーボール(テニス・陸上・ソフトボール・体操・ダンス)のクラブ指導。

④ 対象者: 15~20才の女子生徒。(技術水準は日本の中学生程度。種目によれば、それ以下。)
 カウンターパート: なし。

⑤ 学校備品: バスケットボールコート(一面)・バレーボールコート(二面)・サッカーコート(一面)・テニスコート(一面)・バスケットボール5個・バレーボール20個・ミット・グローブ(15個)・ソフトボール15個・体操用手具(棒・輪・ボール・その他、各60以上)卓球台(1)

⑥ オキ国人数: マリアンゴコースター女性2人(特殊教育)

⑦ 使用言語: スペイン語のみ。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 教員経験・クラブ活動指導経験の両方が良いと思われ。
- クラブ活動指導については バスケットボール・バレーボール、そして、テニスコートとコンクリート敷地のある計画地があるため、現在この3種の指導が可能なことが望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 日

701 体 育

調査者氏名 ^{本邦出身} 海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) Educacion Física	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 一般体育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Presidencia de la República

イ. 配属先名称 (現地公用語): Secretaria Técnica de Planificación

(日本語): 大統領府企画庁

ロ. 隊員勤務先名称: No. 710 "Calros A. Lopez" 日本語名称 (カルロス・アト・オロペス小学校)

所在地: Pedro Juan Caballero 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: パラグワの小学校としては最大規模のものであり、午前午後 2 部制で授業が行われており、日系子弟の殆んどが通学する西語小学校 (文部省管轄) 生徒数は総数約 250 人、うち日系子弟 (2 世) は約 80 人。

ニ. 設備概要: 体育機材・用具は皆無

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 教員

② 技術の範囲 - 当国の場合、体育の授業時間は週一時間と決められているが、教師 (又は女教師) に指導技術がなく、大方はサッカーを遊ばせているのが実態。よって幅広い体育教育を行ない、(時に創意工夫を凝らす) 規律教育運動の案にも指導することが要望されている。

③ 業務の形態 - 具体的授業時間、指導内容に関しては赴任後、学校側と協議、決定することになるが、更に余暇を活用し、日語小学校での指導も期待されている。

④ 利用できる機材 - 殆んどなし (赴任時ホリコバ若干持参の要あり)

⑤ 邦国人等の配置 - 55/4 次隊として音楽隊員が協力活動中

⑥ 使用する言語 - スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

規律教育としての「体育」、情操教育としての「音楽」、それぞれに必要性が叫ばれるが、(現地の) 層が過現在迄放置されて来ているのが実情、他務付地での活動振りに大いに刺激され、本件要請が為されたものであり、教育の一環として期待される所大なるものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 教員免許 (体育)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

710 陸上競技

記入昭和 56 年 5 月 13 日

調査者氏名 松尾邦義 (松)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア (シリア共和国)	(現地公用語) 陸上競技・体育	(男) 人 (女) 1人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 57年 月 受入期限 57年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 教育省

2. 隊員勤務先名称: ダマスカス女子体育師範学校 日本語名称 ()

所在地: ダマスカス (大ダマスカス内の新興地区) 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 今年2月に開設されたばかりの、シリアの女子専門の体育教師養成校。2年制。現在1学年生徒47人、2学年は1,2学年合計2級150人。18,19才の女子生徒

4. 設備概要: 陸上競技場、水泳プール、屋内体育館、理論講義室、P.V. (ビデオ) 設備、女子生徒宿舎設備、食堂等、全2号3,243。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 上記学校の教員 (特に陸上競技を中心とした)
- ② 陸上競技の中心となる知識と能力。球技 (バスケットボール、バレーボール) 器械体操、水泳の技術・知識と能力。知識と能力は非常に便利。
- ③ シリア人教員との共同作業の経験。一人ひとりがチームの能力と強さを高める。
- ④ 生徒の指導 47人、2学年合計 150人
- ⑤ 教員数 現任 8人、内シリア人 12人、日本人 1人。日本人は女性。
- ⑥ 器械: 器械の全2号3,243。
- ⑦ 器械体操を教える 12人、女性教師が一人いる。
- ⑧ 公の面では、伊東言語の P.V. (ビデオ) の使用。英語や U.S. の P.V. の使用と、派遣前の経験に比べて、期待される。生徒の英語のレベルは、入校時に比べて、かなり向上している。英語の授業は、1-2年生の間に、かなり進んでいる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来 P.V. (ビデオ) が、その女子体育師範学校で、その女子専門の体育の振興、普及とつながる。木材、接骨肉離れの経験も、その経験を通じて、その経験の経験の経験。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 大学卒が望ましい (シリア共和国大学)。教育・経験 2年以上。派遣期間 2年。自シリアの仕事を理解し、肉体的、精神的 (女子の場合) 年齢を 18 以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

710 陸上競技

記入昭和 56 年 5 月 13 日

調査者氏名 松尾邦義 (松尾)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア (シリア共和国)	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 1 人	派遣予定 57 年 月
	陸上競技・体育 指導	(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 教育省

2. 隊員勤務先名称: ダマスカス女子体育師範学校 日本語名称 ()

所在地: ダマスカス (大ダマスカス内の新興地区) 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 今年 2 月に開設されたばかりのシリア最初の女子専用の体育教師養成校。2 年制。現在 1 学年生徒 47 人, 2 学年は 1, 2 学年合計 150 人。18, 19 才の女子生徒

4. 設備概要: 陸上競技場, 水泳プール, 屋内体育館, 理論講義室, プラント・ビル, 女子生徒宿舎設備, 食堂等, 全 2 号 3, 21 号

(2) 隊員の業務内容:

- ① 上記学校の教員 (特に陸上競技を中心とした)
- ② 陸上競技の中心となる知識と能力。球技 (バスケットボール, voleibol) 器械体操, 水泳の予一ツクシの専門的な能力と知識と知識は非常に便利
- ③ シリア人教師との共同作業と協力。一人の教師は、隊員の能力と経験が活かせる
- ④ 生徒数 2 学年 47 人, 2 学年合計 150 人
- ⑤ 教師数 現任 8 人, 内 21 人 7 人, 12 人 1 人。8 人のうち 2 人は女性
- ⑥ 器械体操 2 号 3, 21 号 12 人 女性教師が一人は 21 人 2 人
- ⑦ 公用語は、伊語言語の Arabic の使用。英語は 18, 19 才の女子生徒に必要。生活の必要な Arabic の使用。生活の必要な Arabic の使用。生活の必要な Arabic の使用。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来 Arabic の女子体育師範学校は 3 年制で、今年 2 月に開設されたばかりのシリア最初の女子専用の体育教師養成校と見られる。本校 陸上競技部員としての経験も、この新しい言語に慣れる。この新しい言語に慣れる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒が望ましい (シリア短期大学)。教育実習経験 2, 3 年。派遣期間が 2 年間のシリアの仕事に積極的、肉体的、精神的 (女子の場合) 余裕を持って対応できる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1011-55-1-2

綿谷 章 710 陸上競技

記入昭和 55年 7月 31日

調査者氏名 高橋 臣夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Atletismo	(男) 1 人	訓練開始 55年 4月
	(日本語) 陸上競技	(女) 人	派遣予定 55年 7月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE RECREACION, EDUCACION FISICA Y DEPORTES.
(日本語): 文部省 体育庁
- ロ. 隊員勤務先名称: Federación Peruana de Atletismo (日本語名称 (ペルー-陸上競技連盟))
所在地: Estadio Nacional Lima Perú 主要都市からの距離 (約 0 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

本連盟は体育庁の行政監督下にあり、リマに本部を有する。他、各地方毎に支部を置き、ペルーの陸上競技振興のための業務を

- ニ. 設備概要: 国立競技場内に連盟独自の練習場を有する他、リマ市内及び地方主要都市にクラブを有する。機材は日本からの供与によるものがある。

(2) 隊員の業務内容:

- 1. 隊員の業務上の地位: 体育庁所属 連盟付 技術顧問兼コーチ
- 2. 業務の主たる内容:
 - ◎ ナショナル・チーム及び地方主要チームの指導・育成
 - ◎ 指導者の養成・再訓練コースの開催
 - ◎ 有力な地方団体に対する巡回指導
 - ◎ 国内大会の運営、開催に係る助言等。
- 3. カウンター・パート: ペルー人コーチ
- 4. 使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1. 本邦における代表的チームの指導経験 3年以上を有すること
- 2. 大学卒業以上 (体育学専攻) の学歴を有すること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 5 月 20 日

120 体操競技

調査者氏名 真野 志 延

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Gymnastics	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 器械体操	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Jabatan Pelajaran Negeri Perak
(日本語): マレーシア州教育局 (体育・スポーツ教育課)

ロ. 隊員勤務先名称: King Edward VII Secondary School (日本語名称 (キング・エドワード VII 中学校))
所在地: Taiping Perak (主要都市からの距離 (より キロ))

ハ. 事業規模及び内容: 日中... 中学校から高校3年生までの教育と普通課程の中等学校で現在 1005人の生徒、25人の先生がいる。体育に関しては2名の先生が担当している。

ニ. 設備概要: 体操器具は鉄棒1、アヒ1、平行棒1、マット5-7枚がある。車中の体操器具を購入する予定。

(2) 隊員の業務内容:

① King Edward 中学校の体育教師として配属される予定。器械体操の指導とそれと共に マレーシア マラヤ体操協会のメンバーに対しても体操の指導にあたる。

② 同校には MR. Liew という中国人の体育教師が居る。同氏が 隊員と共に体操指導にあたる。
又、同氏は マラヤ体操協会の会長でもあり、ASEAN 4-9 にあたる体操競技の審判の資格をもっている。

③ 使用言語 ⇒ 英語 → 学校の授業は、マレー語で行われているが、体操に関しては技術用語が英語が大部分である。マレー語で体操をしようとする者が少ない。また、隊員には英語で説明してもらう。MR. Liew が通訳をしてくれる。

④ 携行すべき機材等について。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同中学校は、体育・スポーツの盛んな学校で、最近、350-、体操には2つのマレーシア国内の学校センターを保持している。しかし、1人の体育教師が行っている。以上のレベルアップを望むので、隊員の協力を得て、技術の向上と指導方法の取得を希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 体育教師免許。
- 体操競技の審判及び競技の指導経験者。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月26日

720 体操競技

調査者氏名 (茂木治夫 村上和栄)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エジプト	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	Gymnastique	(女) 1 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	体操競技		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère de la Jeunesse et des Sports
 (日本語): 青年スポーツ省

2. 隊員勤務先名称: Institut des Sports Moulay Rachid 日本語名称 (ムラサキナガ 体操大学)
 所在地: エジプト マムラカ 主要都市からの距離 (カイロより 12キロ)

3. 事業規模及び内容: エジプト唯一の(国立)ムラサキナガ体操大学。創立後3年目の新卒業生が揃った。青年スポーツ省の指導のもとで活動している。各地の青年スポーツ指導者の監督や指導者として人材の養成が目的。

4. 設備概要: 敷地 400m x 50m ほどの広さ。木造体育館、球技用体育館、トレーニングセンター、心臓リハビリ施設などがある。全寮制である。体操用体育館は50名程度を収容可能。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 教授。学生に体操とダンス (danse rythmique) を教える。
- ② 1年の後半に南西の平均の国立高校(カハラ)に移転。陸上と移動(高橋)と球技が、後半は高橋健児、跳馬の山下、等。高校の体育のダンス指導もできる能力。1人V(2部)と指導者の兼任が予定されている。
- ③ 学生に体操とダンスの教授指導を行う。ダンスは女子学生に決まっている。体操は女子に決まっている。女子の指導者は1人、男子学生に指導が必要であると知られている。
- ④ 学生は大学入学資格 (バカロア、bac) の取得が入学に必要である。エジプトの学生は初年者が多い。1学年50名。規則には10% (5名) 以上の外国人留学生 (フランス、イタリア、ギリシャ、ドイツ、インドネシア) を受け入れることになっている。現在は3年制の139名の女子学生17名。3年生から専門科に入る。
- ⑤ 1年の弾性、平均、平行棒、跳馬の器具は揃っている。備えている器材は陸上 (短距離) 使用靴、トレーニングの台など。ダンス、70リットル、国立棒の体操服、シューズは持参が必要である。ダンス用、体操用の靴はエジプトでは入手が難しい。
- ⑥ フランス人が多い。体操の場合は現地のフランス人教授が1名。他に1名。
- ⑦ フランス語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

施設の一部は新築中(ボールルーム)であり、3ヶ月以内に入居の準備が整い、教授陣の不足も目立っており、日本に派遣されるバカロア、柔道の指導者の派遣を希望している。現在エジプトの増えている女性の指導者は少く、能力も高くない。この大学の卒業生は、多くの女性指導者を指導・育成する立場に立っており、基礎的な技術の指導、人道的な指導も必要であると認識している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学体育学部 あるいは 教育学部 の体育科学。教員免許。1人V2部以上程度の実績。審判員の資格。フランス語

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 24 日

720 体操競技

調査者氏名 鈴木 栄夫, 村上 和洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
モロコ	(現地公用語) Gymnastique	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 体操競技	(女) 1 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère de la Jeunesse et des Sports

(日本語): 青年スポーツ省

2. 隊員勤務先名称: Fédération Royale Marocaine de Gymnastique 日本語名称 (モロコ) 体操協団
所在地: Casablanca (カサブランカ) 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容:

モロコはモロコシの都市に於ける体操教室 (15歳以下男女 16歳以上は男子を対象とす) の指導と、学校に目ざす選手育成。上記4Vチームの指導
二. 設備概要: 床面積 25×20m (南ヨーロッパと板張り、約1/2) の体操専用体育館。
鉄棒、鞍馬等の器具は揃っているが、現在その以外の工事中。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 体操教室の指導員。上記4Vチームのコーチ
- ② 上記体操教室の基礎的な運動・体力づくりの2回毎週2回以上の指導まで。
- ③ 普段は体操教室 (16:00-21:00) の指導。夏、冬、春の学校休暇期間中は上記4Vチームと同指導。
- ④ 対象者は男子小学生、成人及び小学校の体育授業の専任、選手指導員と、女子は教員のみ。
同僚は 27歳-30歳以下。体育教師養成校卒。種々の資格を2回毎週2回以上の指導に必要とされる。指導員は総じて同様に VAIL の区 (区) 理論的見地から指導員に必要とされる。指導員は VAIL に参加している。
- ⑤ 上記の器具は一応揃っている。上記 (基礎) はフランス製のものを高く購入し、体操用には不向き。上記チームは日本製のものを輸入している。上記チームは別に草履を入手し、品質はよくない。上記チームはフランス製の V-シューズ。日本製の学校用の体育館シューズはよくない。品質はよくない。上記チームは VAIL に参加している。指導員は必要とされる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 54-I 村上 和洋 隊員 後任

受入希望は国司に教員、非常に少なく VAIL の区 (区) 以上は多く、国内の拡大は望まれている。83年にはモロコシ (カサブランカ) に地中海沖にビーチの建設予定と、そのための選手育成の能力開発の期待とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

体育教員免許のある者が望ましい。選手指導 (2部) の経験。上記体操教室の指導員。男女ともに指導できる能力がほしい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年6月21日

720 体操競技

調査者氏名 門間通

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bolivia	(現地公用語) Gimnasia	(男) 人	訓練開始 年 月
ボリビア	(日本語) 体操競技	(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Comite Olimpico Boliviano*

(日本語): ボリビアオリンピック委員会

2. 隊員勤務先名称: *Federación Boliviana de Gimnasia* 日本語名称 (ボリビア体操連盟)

所在地: *Calle Mexico, La Paz*

主要都市からの距離 (より / キロ)

3. 事業規模及び内容: 1977年のボリビア大会と1978年の南米博は当地で開催され、体操競技もこれに参加している。また、1980年にはリオデジャネイロで行なわれた南米選手権に初めて選手団を送っている。また、国内選手権は9月か10月に毎年行なわれる。

4. 設備概要: ラパス市立体育館および国立競技場内に練習場があり、機材は一通りそろっている。

(2) 隊員の業務内容:

ボリビアにおける体操競技は歴史が新しく、そのためのトップレベルの養成と底辺の拡大のため一般への普及も平行して業務する必要がある。

1. 隊員の業務上の地位はナショナルチームのコーチである。また、ボリビア体操連盟の技術顧問という地位が与えられる。

2. 技術面では実技ができることのほか採点規則もよく知っている必要がある。

3. 業務形態は選手チームを指導すること。また要請があれば地方選手強化のためや指導者層育成のため地方出張や講習会などを行う。

4. カウンターパートは特にない。対象者の年齢は10才から15才くらいで体操歴は2年~5年であるがレベルは低い。

5. 体操用機材は一通りそろっているが、そのほか簡単なものであれば現地で作成あるいは調達可能と思われる。

6. 第三国人及び日系専門家配置なし

7. 使用言語はスペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ボリビアにおける体操競技は、いまだに模倣の段階にあり、現在までに外国から専門のコーチを招いて講習会などを行なっているが、いずれも期間が短いので十分とはいえず、特に女子については女性特有の振付(コレオグラフ)を指導できる人がいないため、この点についてより強い期待がもたれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

国内選手権出場経験者で大学の体育学部を卒業、国内審判員の資格をもち、実務経験は2.3年であればよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和65年4月2日

720体操競技

調査者氏名 若波知俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Gimnasia	(男) 3人	訓練開始 年 月
	(日本語) 器械体操	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE RECREACION, EDUCACION FISICA Y DEPORTES (INRED)

(日本語): 文部省体育庁

2. 隊員勤務先名称: Federación Peruana de Gimnasia 日本語名称 (ペルー器械体操連盟)

所在地: Estadio Nacional Pta. 24-A, 2nd Piso, Lima 主要都市からの距離 (マダノキロ)

3. 事業規模及び内容: 本連盟は1947年4月に発足した歴史の古い団体で、全国レベルで2,500名、そのうち一流選手として160名を数え、体育庁の補助金を受けるとともに、会長の任命を初めその行政監督下に置かれている。

4. 設備概要: 国立競技場内に連盟独自の練習場兼大会会場を有し、機材は昨年度の日本よりの文化無償による供与を受け完備している。

(2) 隊員の業務内容:

本連盟は過去4か年にわたって国際交流基金の派遣した門脇隆二氏の指導を受けた経験を有し、同氏の尽力もあり、近年漸く国際大会にナショナルチームを送るにまでそのレベルの向上をみている。然しながら良き指導者の下での一層の強化充実の必要性は痛感されるところで、この意味からも隊員の活躍が是非とも望まれる分野である。

1. 隊員は体育庁所属連盟付技術顧問兼コーチという地位が与えられる。
2. 主たる業務内容は、ペルー人指導者層の育成・指導と、ナショナルチームの指導ということ。当面は門脇氏の後任的存在になると考えられる。
3. カウンセラーとしては、体育学専攻の7名のペルー人コーチが予定されており、彼等はキーンバおよびリ連において修士課程を修めている。
4. 現地を利用可能な機材は、既述のとおり。
5. 米3国人及び自米専門家の配置なし。
6. 使用言語はスペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

門脇氏の指導の下に将来を期待される有望選手が育ってきており、伝統ある日本の器械体操技術を生かして、国際的な人材を生み出し、もって国民の理解の向上と、愛好者の増加を図って、本スポーツの健全な発展と、青年の身体強化を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 本邦における代表的チームの指導経験3年以上を有すること
2. 大学卒以上の学歴 (体育学専攻) を有すること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

730 水 泳

記入昭和 56年 7月 日

調査者氏名 藤新樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) NATACION	(男) 1人	訓練開始 昭和 57年 1月
	(日本語) 水泳	(女) 人	派遣予定 57年 4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *COMITÉ OLÍMPICO*
(日本語): *オリンピック委員会*

2. 隊員勤務先名称: *FEDERACIÓN BOLIVIANA DE NATACION* 日本語名称 (*ボリビア水泳連盟*)
所在地: *LA PAZ - BOLIVIA* 主要都市からの距離 (*解放*より 4.キロ)

3. 事業規模及び内容: *国際的レベルの育成と現在の初心者 (10x以下) と何年後か先
国際的レベルの育成が主。*

4. 設備概要: *基本プールを完備している。*

(2) 隊員の業務内容:

*1. ボリビアの水泳指導を主として、そのほか、同国での水泳普及活動を中心として、初心者
の6年制訓練を行い、インターナショナルな育成が主、同国の発展の一環としての業務は、初心者から上級者までの
指導、10x級から、8x~12x級を中心とし、同国での現在のインターナショナルなレベルの指導が主。*

① 指導の業務の地域:
同国、ボリビア、オリンピック委員会のボリビア水泳連盟の管轄下、そのほか、インターナショナルな指導も行う。

② 指導の範囲:
*同国の競泳、自由泳、背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎの各種目の指導は、選手としての一人の技術指導が
出来、初心者の水泳指導が主である。*

③ 業務の形態:
*業務は、La Pazの初心者から上級者までの指導と、La Pazの競泳連盟のインターナショナルな指導と、同国オリンピック委員会の
作成、同国大会の指導業務の両方。*

④ 指導指導は、オリンピックの技術指導、指導員免許等。
指導員は、10x級から、12x級まで、水泳指導、水泳連盟の指導員免許、同国大会、同国大会 5x~12x

⑤ 現地の利用状況:
8月、2000名程度の選手が、La Pazの競泳連盟、La Pazの競泳連盟、La Pazの競泳連盟、La Pazの競泳連盟、La Pazの競泳連盟

⑥ 設備は、同国の競泳連盟の設備状況、設備は、同国の競泳連盟以外に、同国の競泳連盟、同国の競泳連盟

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

受入希望の背景としては、同国の競泳連盟が、ボリビア国民が、同国の競泳連盟が、同国の競泳連盟が、同国の競泳連盟が

受入国の期待としては、ボリビアは、インターナショナルな水泳連盟の育成、同国の競泳連盟が、同国の競泳連盟が、同国の競泳連盟が

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 学歴 大学程度
- ② 取得資格 ○ 別紙 (1x、競泳選手として、10年以上の経験)
- ③ 業務経験 1~2年程度
- ④ 隊員に要求される技術水準 ○ 国際的レベルの競泳選手として、初心者指導が出来ること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

743 バレーボール

記入昭和 54年 9月 15日

調査者氏名 柳井 達

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Volley-ball	(男) 2名 人	訓練開始 55年 4月
	(日本語) バレーボール	(女) 人	派遣予定 55年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 日に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère de Jeunesse et des Sports
(日本語): 青年スポーツ省

2. 隊員勤務先名称: Fédération Tunisienne de Volley-ball 日本語名称 (チュニジアバレーボール協会)
所在地: チュニジア 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 青年スポーツ省の指導監督の下にチュニジア国内におけるバレーボール選手の育成・強化を目的とした事業全般を行ない、対外関係についてもその権限をすべて掌握している。

4. 設備概要: ナショナルと地域のローカルとでは内容に大きな差があるが、バレーコートはどちらにも確保され(屋外が多い)、ボールも当てなどは携行する必要がある。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位は青年スポーツ省所属で、チュニジアバレーボール協会に配属され、バレーボール普及強化指導員 (Entraîneur) とする。

2. 技術の範囲、チュニジアのバレーボールの技術水準はアフリカ地域では抜きぬいでいるとはいえず、世界レベルではまだまだ低い。隊員がナショナルの普及指導員に任せられるか、ローカル4-4の指導員を命ぜられるかは仏文履歴書到着後、その内容をバレーボール協会技術普及強化部長 (Directeur Technique) が審査し、かつその時点でチュニジア側のバレーボールにおけるニーズを基盤として決定する。

3. 過去にはすでに5名の隊員が派遣され、うち4名が地域のローカル4-4指導員、1名がナショナルの若年組 (junior) を指導した。地域のローカル4-4の指導員の場合は、その地に組織されたクラブを指導するがたいては高校(女子を含む)へ出張指導する機会が多い。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上記の如くすでに5名の隊員が派遣され、現在3名(うち1名は奉命帰国)が活躍中である。チュニジア側としては常時3~4名の日本人指導員を要請している。レベルアップには時間がかかるので、息の長い協力が必要とされる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

できれば大学が望ましいが、むしろ経験が豊かな(7年以上、ということも含め)
25歳以上) であることが絶対条件。クラブ指導の経験も有すること。

最終

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 5 月 17 日

743 バレーボール

調査者氏名 岡本 光夫・二口利章

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
現地	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	Volley ball バレーボール	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère de la Jeunesse et des Sports
(日本語): 青年スポーツ省
2. 隊員勤務先名称: Institut des Sports Moulay Rachid 日本語名称 (ムラヤラシッド体育大学)
所在地: マモウラ Mamoula 地 主要都市からの距離 (ムラより 12 キロ)
3. 事業規模及び内容: 現地の唯一の(国立)4年制体育大学。創立後3年目の卒業生は約150名。学生は55名。毎年スポーツ省の奨学金を受け、海外から学生が来る。各地の青年スポーツ省の奨学金を受け、スポーツの指導者として働く者もいる。
4. 設備概要: 敷地は約400m(2→3)四方、体育用体育館、校舎用体育館、バレーコート、サッカー場、バスケットコート等が完備している。バレーコートはコルクコート。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 教授。
- ② 同僚と協力して1・2年程度の実力の向上を図る。学生の能力向上は専ら練習と指導による。
- ③ 学生に適切な教授指導。現地の教師(現地の2人)はバレーボール専門ではない。教科の負担は軽減し、実力向上に集中して行きたい(希望)。
- ④ 学生は大学入学資格(バカロプ、bac(バ)と通称)を得た後に入学し、2年制の課程に入る。2年制の課程は、日本の大学と同等の学費が多い。教授は専ら、足場の指導と対応可能な高い。1年制50名。規則には、10% (5名) 程度外国人留学生(フランス語圏の出身者)の受け入れと希望している。現地の3年制で139名。3年生が専門科に入る。
- ⑤ バレーボール、ネット(バレーボール用)ボール一式
- ⑥ フランス人教師の採用。以前に本校の体育教授であった人財は実力は十分と見られる。
- ⑦ フランス語。採用に入るとはフランス語の訓練は必要と見られる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

施設の一部は現在建設中(バレーコート)である。設立3年目に入り専門科目(教員養成)の教授陣不足が目立つ。日本に派遣される体育教授(女子)募集の希望は、派遣要請書に示されている。2年制(短期)の体育学校。教師として二口利章隊員に派遣希望と、本校の希望がある。現地の教師がバレーボール専門ではない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学体育系卒業。大学の1・2年程度の実力。指導経験1年以上。フランス語。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

746 野 球

記入昭和 56年 8月 4日

調査者氏名 山口誠順



受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) BEISBALL	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 野球	(女) 人	派遣予定 57年 7月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministerio de Cultura, Juventud y Deportes*

(日本語): 文化青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: *Dirección General de Educación Física y Deportes* 日本語名称 (体育スポーツ局)

所在地: *San José* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1. 青少年の健全育成
2. 体育スポーツの普及および援助
3. *Comite Cantonal de Deportes* の管理および援助 4. その他

ニ. 設備概要: サバナ運動公園には各スポーツが十分できる設備が整っている。

(2) 隊員の業務内容:

・地方普及・指導者・審判員の養成

1. 野球技術顧問

2. リトルリーグや1部リーグ

3. 本都も *San José* におき地方からの要請におおじて巡回指導を行なう
又協会でのアドバイザーでもある。

4. 子供から大人まで、カウンターパートは大学生で技術水準は日本の高校生の中、ぐらいと思える。

5. 機材に関しては肉題なし。

6. 肉題なし。

7. スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

また *Costa Rica* 野球の基礎がしかりしていないが、ここ1、2年急激に野球熱が高まっている反面指導者・審判員グラウンド不足の肉題を抱えている。ゆえに新隊員に期待するものが多いと思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 4年生大学卒 2. 体育学士取得者 3. 野球審判員取得者
4. 野球経験5年以上の者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78601 柔 道

記入 昭和 56 年 9 月 10 日

調査者氏名 神谷 弘 司
沢井 勝 之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) JUDO (日本語) 柔道	(男) 1 人 (女) 1 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 53年2月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 University of The Philippines			
1. 配属先名称 (現地公用語): SPEAR (Institute of Sports, Physical Education and Recreation) (日本語): フィリピン大学スポーツ・体育・レクリエーション部			
ロ. 隊員勤務先名称: " 日本語名称 ()			
所在地: U.P. Diliman, Quezon City 主要都市からの距離 (マニラより 20キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: フィリピン大学はフィリピン No.1 の大学で、Diliman U.P. の学生数は約 1,000 人、教授・助教授 250 名、講師 120 名、従業員約 500 名以上を有し、広大なキャンパスには多くの教室、図書館、郵便局、銀行、ショッピングセンター、病院等小さなニ. 設備概要: 春市なみの規模を有しており、体育関係の設備としては体育館(2階に柔道場)、プール、グラウンド 2 面、ゴルフ場、ホリック場等がある。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位 Institute of Sports, Physical Education and Recreation (SPEAR) の Instructor 及び U.P. Judo Club の Coach.			
② 技術の節目 柔道未経験者の指導がほとんどなので、高度な技術よりも正しい方法、受身、基本動作、基本技、理論、形などの指導技術が優先する。			
③ 業務の形態 正課体育のクラスを受け持つのと、放課後におけるクラブの指導。			
④ 対象者及びカウンター・パート 対象者は UP の学生で年齢は 17 才から 30 才くらい、カウンター・パートなし。			
⑤ 現地で利用できる機材 柔道畳約 50 枚、8mm フィルム、試合用機材(ゲル、ハタ)、極の形用居合刀。 現地では柔道着が非常に高価(日本の 2~3 倍)で、学生が使用しているのは空手着のような薄い布で作られており、自取をするとすぐに破れてしまう(教材・機材の向題点)			
⑥ 使用する言語 英語。UP は日本と言えば莫大におたる No.1 の大学で、学生の英語力は極めて高度。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鈴木有良隊長(55/4 次隊)の交替 U.P. における柔道協力は及川、青木、由川、沢井と 8 年にわたり続いている。それゆえに P.E. における柔道の位置は確固としており、受入国の期待は大きい。現在、沢井隊長は柔道、空手の授業を受け持つっており、できれば柔道、空手が両方できる隊員を望んでいるが空手の場合にはキャンセルすることができる。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと): 学歴 大卒程度、体育教員免許 (柔道 4 段以上)、 実務経験 2 年程度			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年8月4日

761 柔 道

調査者氏名 土居重一 Shimbō

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Judo	(男) 1人	訓練開始 57年4月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 57年7月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年7月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Office of the Governor Bangued, Abra.
(日本語): アブラ州 バンゲット 知事官庁

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 (日本語名称: 同上)
所在地: Bangued, Abra. (主要都市からの距離: マニラより450キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 柔道指導 高校生、大学生、一般青年を主として指導
現在登録人員25名。

ニ. 設備概要: (多目的使用ビルディング、トイレ、シャワー、水道設備あり) 体操マット1000mm x 900mm、
柔道マット 909mm x 1818mm x 58mm 72枚、柔道衣、20着、中古少
道場用クッションマット 950mm x 3000mm x 40mm 39枚、レスリングマット 6000mm x 2000mm

(2) 隊員の業務内容: 〇月 ~ 金 PM. 4:00 ~ 6:00.

土 AM 9:00 ~ 11:00

日 休

今後、地元の高校、大学と連絡をとり、体育の授業の一環として組
入れる。また、同様に小学生を対象に少年柔道指導も予定

- ・ 隊員地位としては知事官庁で、日本の社会体育指導員的位置。
- ・ 技術的にはまだ初歩的段階である。
- ・ 対象者は素人であり、地元の柔道に入れたわけは指導員一人だけ
手不足である。カウチングは Governor であるが、多忙で練習は行
相談相手は多く、実技面や実際道場、大会運営等、そのほか別のカウチング
が必要。
- ・ 現地で利用可能な器材は上記の通りである。設備、器材は整備済み。
- ・ 使用言語は主として英語。(小、中学生や Out of School の青年はほぼ100%理解
可能。徐々に日本語で教える予定である。
- ・ 将来レスリングと格闘技、他の場所へ巡回指導も行く予定である。
- ・ 将来は早朝練習も考えられる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 柔道 (土居重一)

- ・ 知事であるこの周辺はよく理解している。一般の人達も柔道と名前を知り
いる程度。しかし、実施はなかなか難しい。環境も悪く、強くなる
という願望は強い。候補は日本人にしたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について〇印で囲むこと):

- ・ 四肢の整った体格が望ましい。ただし、技の形、固形の護身術はマスタリー。
- ・ この地に長期にわたる柔道と指導していただくための基礎として、レスリング経験のある人、決
途中であきらめたり、短気な人は、自身の指導者として適当でない。
- ・ 英語の読み書きが可能な人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 1月 31日

770 柔 道

調査者氏名 柳 井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
チュニジア	(現地公用語) Maitre de Judo	(男) 2 人	訓練開始 1980年 4月
	(日本語) 柔 道	(女) 人	派遣予定 1980年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): 青年スポーツ省

(日本語): Ministère de la Jeunesse et des Sports

2. 隊員勤務先名称: Fédération Tunisienne de Judo (日本語名称 (チュニジア柔道連盟))

所在地: 31, Rue Kamel Ataturk, Tunis (主要都市からの距離 (市内) 40)

3. 事業規模及び内容: チュニジアに本部、そしてチュニジア国内に6か所の支部を持つチュニジア人に対し柔道の普及拡大を計っている。

4. 設備概要: 約100畳位の練習場がある(チュニジア)が、夕夕は古く、建物も固く、新しい道場は計画中であること、完成するか見通しは明らかでない。

(2) 隊員の業務内容:

チュニジアの柔道は約10年前から明大OBの柔道指導者によって開始され、以来、約約による指導者から昭和51年3月に協力隊員に引継がれ、捜本隊、阿部隊、萩野隊とすでに三代、4年間にわたって指導が行われてきた。萩野隊の引継(55年2月)に当たって交代者として追加1名の2名について要請が出されたことである。萩野隊員の交代者は、チュニジア柔道ナショナル4-6の技術指導者としてナショナル4-6選手の育成に当る。追加1名の者はナショナル4-6の支部(恐らくスファックス支部と推定)の専任技術指導者としてその地域の選手の育成に当る。チュニジアのナショナル4-6の選手は学生、軍人、社会人から構成され、年齢は17歳~25才であり、毎週月水金の夕方から柔道連盟道場において1時間半~2時間半の間、練習が行われる。特定の時期、新年とか夏休み期間、には強化合宿を1週間か10日間実施することもある。チュニジアでは柔道の人気が高まってきており、小学校低学年から20歳以上まで、各種クラブに参加して練習に励んでいる。これの中から優秀な人材を選抜してナショナル4-6の選手とする。1979年4月にエゴスラビアで行われた地中海オリンピック(15か国参加)においてチュニジア4-6は銅メダル3ヶを獲得している。練習プログラム、合宿プログラム、海外遠征日程等について協力隊員の意見が尊重され、遠征に参加する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: チュニジア柔道は当初から日本式(Ecole japonaise)で行われ、10年以上も経過してレベルは上がりつつある。1980年モスクワオリンピックへの参加は状況が流動的であるが、チュニジア政府としては日本人柔道家による継続指導を熱望しており、地元指導者を拡大する意味で今回の2名の要請と併せて要請した。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 柔道5段(チュニジア)4段(スファックス)以上の有段者なこと。チュニジア人は体格が大きいので大きい体格の者が望ましい。フランス語をしっかりと習得していること。アラビア語の厳しい人間関係に対応して行った人間的にゆとりある人物。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 10 月 16 日

761 柔 道

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
5-3	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57 年 8 月
	Judo Instructor 柔道	(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): **MINISTRY OF HOME AFFAIRS**

(日本語): **内務省**

ロ. 隊員勤務先名称: **PRISON STAFF TRAINING COLLEGE** 日本語名称 (刑務官訓練学校)

所在地: **タイビ** 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: **毎年3回 新刑務官約200名の訓練を実施**

ニ. 設備概要: **150名程度の通湯が既設**

(2) 隊員の業務内容:

柔道教官要員11名の指導および200名の訓練生に対し柔道・速捕術・護身術を指導する。

① 業務上の地位: **柔道指導教官**

② 技術の範囲: **柔道 速捕術 護身術**

③ カンパパート: **11名の教官要員のうち2段1名、初段7名**

④ 利用可能な機材: **エアパンチ 2, バンベル 100kg 1, 鉄パイプ 2kg 2, 4kg 2, 柔道着 60着**

⑤ 常駐人数の確保: **なし**

⑥ 使用可能な言語: **英語・スウェーデン語**

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

過去数代柔道隊員が指導にあたってきており、その結果11名のカンパパートが有し、家来のとおり1名の2段、7名の初段を取得している。中一帯のところを定めているが口外なので是非交替隊員を派遣してほしいというが学校長の要望である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(柔道4段以上) 速捕術、護身術、技の形と完全に練習できている

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 11 日

761 柔 道

調査者氏名 表 孝雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
アメリカ	(現地公用語) JUDO	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 56 年 7 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION FISICA Y DEPORTES
(日本語): 体育スポーツ局

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()

所在地: サンホセ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 体育スポーツを司り、各分野の機会を通じて 1 青少年の健全育成、2 体育スポーツの普及及び援助等を行なう。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 指導員

2. 技術の範囲: 初級 中級 上級の三つから成るコースで柔道の指導を行ない 上級クラスで初段程度。又指導者への指導の他、学校への普及、柔道大会企画を行なう。

3. 業務の形態: 現場型 各地に散在する道場を巡回するがサンホセ中心の活動となる。

4. 対象者: カウンターパートの技術水準 初心者から初段程度迄

5. 利用できる機材: 体育館 所 道場 約 50 畳

6. 母国語: 日語

7. 使用言葉: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 既に三代続いたプロジェクトで若者が満気帰国を促すため、停滞気味である。柔道協会からも協力要請が来り、活動が あり 特にレベルアップが期待され、このための一環として指導者への柔道指導、大会企画が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 三段以上 (他は現役)
又企画力のある者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

761 柔 道

記入昭和 56 年 7 月 25 日

調査者氏名 吉村正秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ソマリア 諸島	(現地公用語) JUDO INSTRUCTOR	(男) 2 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 57 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): POLICE HEADQUARTERS, PRIME MINISTERS OFFICE
(日本語): 総務府、警察本部
2. 隊員勤務先名称: POLICE TRAINING SCHOOL 日本語名称 (警察訓練学校)
所在地: HONIARA, PO BOX 93, HONIARA 主要都市からの距離 (首都) 1 キロ
3. 事業規模及び内容: TEL: 27

二. 設備概要: 体育館 (建設中) 75 x 100

(2) 隊員の業務内容:

隊員は警察本部、警察訓練学校に配属され、訓練担当 5 名の警察官をカレッジ・レポートとして指導するほか、6 月分の訓練コースに入校していく 50 名の新任警官訓練生に、柔道、逮捕術、護身術の指導にあたる。柔道 3 級以上
午前 2 時間、午後 2 時間の訓練を担当するほか、訓練計画 (柔道) の作成にあたり、POLICE FIELD OFFICER MR FABIANO と共同の業務を行う。
一人は、ホニアラの警察訓練学校で指導するが、他の一人は地方の警察署で巡回指導する。
使用言語 英語
柔道用品は皆無であり、購送する必要があり、柔道衣類訓練生用 ~~は~~ の政府が購入する必要がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同校には、体育教官が不足しており、日本柔道に対する期待は大きい。(警察官の総数 500 名、小学校 6 年、後 Form 2 から志願する)。隊員用事務所あり

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

逮捕術、護身術の指導可能な柔道 3 級以上
○V. マンダラについてはよく協調性にあふれること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 8月 5日

761 柔 道

調査者氏名 吉村正寿

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PNG	(現地公用語) JUDO INSTRUCTOR	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSITY OF PAPUA NEW GUINEA
(日本語): パプアニューギニア大学

ロ. 隊員勤務先名称: UNIVERSITY OF PAPUA NEW GUINEA 日本語名称 (パプアニューギニア大学)
所在地: ポートモレスビー 主要都市からの距離 (モレスビーより2キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BOX 4820, UNIVERSITY P.O.

ニ. 設備概要: 体育館 3コート

(2) 隊員の業務内容:

隊員は、パプアニューギニア大学に配属され、同校の
去る6月1日に開設された RECREATION + SOCIAL CENTRE
に大学生を対象に柔道の指導に当る。同センターは
スポーツ、演劇、体育とに外科学科の行われるほか
柔道と並んで ~~文化、社会教育~~。文化、社会教育の
交流を計ることをねらいとしている。
1日3時間の指導に当る。
使用言語は英語。
体育館の指導するが、柔道着は備わっていない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当大学には、医学部 ~~を~~ 含め 2,000人の学生が
あり文化交流を計るべく 上述センターの拡充に
努めあり、期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

柔道 三級以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 11日

762 空 手

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 57年 9月 6日
	Karate Coach	(女) 人	派遣予定 57年 10月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	空手		

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *Police Headquarters, Home Ministry*
 (日本語): *内務省 警察本部*
- ロ. 隊員勤務先名称: *Central Police Training Center* 日本語名称 (中央警察訓練所)
 所在地: *カトマンズ* 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: *警察官の新規採用者・現職者に対する訓練*

ニ. 設備概要: *グラウンドを使用*

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: *空手の指導教官 (Coach)*
- ② 技術の範囲: *空手道指導が主。その他逮捕術・護身術の要素をいれた演武指導 (通常の訓練) (警察主催の行事で披露等)*
- ③ 業務の形態: *午前2時間、午後2時間の訓練。トレーニングセンターのグラウンドを使用。他に同誕生日の演武(集団)を1ヶ月内、女王誕生日の演武(集団)を3ヶ月内集中練習する。*
- ④ 対象者及びカウンターパート: *対象者約50名の警察官中、有段者12名(1名2段、他初段)がいる。初心者への指導はネパール人インストラクター(教官=有段者)が行い、隊員もインストラクターの養成に重点をおいた指導をする。半年内(4ヶ月)終了。*
- ⑤ 現地で利用できる機材: *鍛練具*
- ⑥ 単身日本人専内家: *協力隊員・器械体操(同セター)、柔道(ホリスカフ)各1名*
- ⑦ 使用する言語: *ネパール語*

⑧ 注: *カウンターパートの Mr. Devendra Kumar Shrestha は 1979年に日本へ研修に行き、現在2段。*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパール警察への協力隊(空手)派遣は現在まで3代<黒部初喜-西藤聖信-海上宣三>にわたっており、ネパール側にも有段者が育てたが、カトマンズ以外の全国の訓練所へ空手訓練を普及させるために必要者インストラクター(指導員)を養成すべく、引き続き隊員要請がなされた。空手の訓練を通し警察官の態度・資質の向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

和道会 空手4段。 <3代にわたり和道会で育てられ、技術の統一の観点から>